

令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立港晴小 学校

児童数 27

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.91	17.58	32.00	36.83	41.67	9.36	144.58	19.08	50.64
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	15.36	23.50	39.42	45.50	53.50	8.82	154.58	15.08	61.50
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

結果の概要

男子は、調査種目8項目のうち1項目で全国平均を上回ったが、体力合計点は全国平均を下回る結果となった。一方、女子は8項目のうち7項目で全国平均を上回り、体力合計点においても全国平均を大きく上回る結果となった。質問項目「運動やスポーツをすることが好きですか」では、男子の83.3%が肯定的に回答したものの、全国平均93.4%を下回っている。女子は100%が肯定的に回答し、全国平均85.8%を大きく上回った。また、「1週間の総運動時間が60分未満の児童生徒の割合」については、男子の27.3%が60分未満であり、全国平均8.8%を大きく上回っている。女子は60分未満の児童はおらず、全国平均17.3%を大きく下回った。

以上の結果から、女子は日常的な運動習慣が定着していることが体力・運動能力の結果にも反映されていると考えられる。一方、男子については、運動時間の不足が体力合計点の低さにつながっている可能性が考えられる。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、健やかに身体を動かすことの楽しさや心地よさを味わい、生涯にわたってスポーツに親しむことができる子どもの育成をめざしてきた。そのため、学校教育アンケート（児童用）「運動や遊びを進んでいますか」および大阪市小学校学力経年調査「運動やスポーツをすることが好きですか」における肯定的回答の割合を65.8%以上とすることを年度目標に設定している。

具体的には、主体的に運動する習慣の定着と基礎的な体力・運動能力の向上を図るため、児童が楽しく参加できる運動の取組や企画を年間2回以上実施することを指標として取り組んできた。令和4年度より継続して実施している「大縄大会」では、学年が目標達成に向けて協力し合う姿が見られ、体力向上に加え、協働性や達成感の醸成にもつながっている。また、「なわとび週間」「かけ足週間」を設定し、寒い時期にも継続して身体を動かす機会を確保することで、運動への興味・関心を高めるとともに持久力の向上を図ってきた。

今後の課題としては、特に男子における日常的な運動時間の確保が挙げられる。授業における運動量の確保に加え、休み時間や家庭との連携を通じた運動習慣づくりを一層推進する必要がある。引き続き、児童が意欲的に運動に取り組める環境づくりを創意工夫し、運動習慣の定着と体力向上を図っていく。